

## 平成24年度 学校評議員会の評価報告

1 日 時：平成25年2月19日（火）18:00～19:30

2 場 所：宮城県第二工業高等学校

3 報告事項等

- (1) 近況報告
- (2) 学校評価結果について
- (3) 本年度の取り組みについて
- (4) 意見交換

4 出席者

(1) 学校関係者

- 評議員：同窓会会長
- 評議員：米ヶ袋町内会顧問
- 評議員：元P A T会長
- 評議員：現P T A会長

(2) 学校職員

- 校長
- 教頭
- 事務室長
- 総務部長
- 教務部長
- 生徒指導部長
- 進路指導部長
- 普通科代表
- 電子機械科長
- 電気科長

5 学校評価の結果について

- 定時制専門高校として、きめ細かな指導がなされ、資格取得を始めとした、学習する態度が育まれ、実績を上げていることが素晴らしい。特に、質問項目13～16が、評価者3者が一致していることは、学校が目指すところの目標に、生徒・保護者・先生が一体となって向かっているものと思われる。
- 芸術鑑賞に参加させていただいた。地域に住んでいるものとして、全体の生徒の様子を知ることは初めてであった。生徒自らジャズライブを楽しむ姿が、とても生き生きしていた。今後も、地域として見守っていききたいし、生徒を活かす行事を続けてほしい。
- 地元で活躍している人などからも、芸術鑑賞に協力をいただければいい。協力していきたい。
- 地域との交流を深めるために、例えば、芸術鑑賞を地域に開放するなどして、学校と地域の交流が、行事として恒例化するようなことは出来ないだろうか。これまで、地域との関わりが難しい面もあったが、学校行事を地域に知らせ、参加していただくような、学校でも地域との接点を作り上げてほしい。
- 各行事が活発に行われているように感じられる。同窓会の立場でも、出来るだけ協力していきたい。
- 生徒向けに、学校生活アンケートを2回実施しているとのことではあるが、先生の目の届かないところで、いじめが発生するものなので、今後も注意深く見守ってほしい。